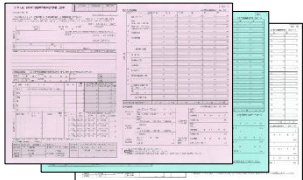


学部生特例措置・大学院生用

令和5年度

入学料・授業料免除等の申請手続きについて

【提出物案内】

	申請書 	チェックリスト・課税証明書など 
前期	全員提出	全員提出
後期	新規申請者のみ提出	全員提出（前期申請者含む）

＜ 目 次 ＞

1. 入学料免除及び入学料徴収猶予の手續きについて……………	P3
2. 授業料免除の手續きについて……………	P5
3. 申請書類の提出について……………	P7
4. 申請書類記入上の注意……………	P9

◎入学料免除及び入学料徴収猶予【大学院学生】

申請期間	(4月入学者)※学内進学	令和5年2月27日(月)～3月1日(水)
	(4月入学者)※学外進学	令和5年3月17日(金)～4月5日(水)
	(10月入学者)	令和5年 月 日～ 月 日
結果通知	(4月入学者)	5月中旬(予定)
	(10月入学者)	11月中旬(予定)

◎授業料免除【学部生(令和元年度以前入学者)・大学院学生】

前期	申請期間	(4月入学者)※学内進学	令和5年2月27日(月)～3月1日(水)
		(4月入学者)※学外進学	令和5年3月17日(金)～4月5日(水)
		(在学生)	令和5年2月27日(月)～3月1日(水)
	結果通知	6月下旬(予定)	
後期	申請期間	(令和5年10月入学者)	令和5年 月 日～ 月 日
		(在学生)	令和5年 月 日～ 月 日
	結果通知	12月下旬(予定)	

※ 提出期間を過ぎた後は、申請書類の受付は行いません。

※ やむを得ない事情により、申請書類に添付する書類を申請期間内に揃えられない場合は、事前にその旨を申請書類提出先へ連絡し、指示を受けること。

1. 入学料免除及び入学料徴収猶予の手続きについて【大学院学生】

(1) 入学料免除の対象者

次のいずれかに該当する者。

- ① 大学院に入学する学生のうち（研究生、聴講生等として入学する者を除く。）、経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 令和4年4月1日以降（※10月入学者については、令和4年10月1日以降）に、学資負担者が死亡した者、又は入学する者若しくは、学資負担者が風水害等の災害を受けた者
- ③ 上記②に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者
- ④ 強い社会的要請があり、特段の配慮が必要であると学長が認める者

(2) 入学料徴収猶予の対象者

大学院に入学する学生のうち（研究生、聴講生等として入学する者を除く。）次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

- ① 経済的理由により納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 令和4年4月1日以降（※10月入学者については、令和4年10月1日以降）に、学資負担者が死亡した者、又は入学する者、若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる者
- ③ その他やむを得ない事情により納付期限までに納付が困難と認められる者

(3) 申請について

入学料免除を申請する場合は、「令和5年度授業料免除等申請書」を記入し、提出書類（証明書等）を添付のうえ、申請受付窓口へ提出してください。また、入学料徴収猶予も併せて申請してください。入学料免除申請と入学料徴収猶予申請を併せて行うことで、入学料免除の選考の結果が不許可もしくは一部免除となった場合、続けて入学料徴収猶予の選考を行い、選考の結果、徴収猶予について許可された場合は、令和5年8月末（※10月入学者の場合は、令和6年1月末）まで入学料の納付が猶予されます。

(4) 免除の額

入学料免除選考の結果、全額免除もしくは一部免除が許可された場合は、入学料の全額もしくは一部を免除します。

(5) 選考結果の通知

入学料免除の選考結果は、
九工大メールアドレス宛にメールにて通知します。

なお、入学料については、選考の結果、不許可もしくは一部免除となった場合、納付額を記載した納付書をレターパックで保証人宛てに発送しますので、速やかに(通知を受けた日から14日以内)に納付してください。(所定の期限内に入学料を納付しなければ除籍となりますので、十分注意してください。)

2. 授業料免除の手続きについて【学部生特例措置・大学院学生】

(1) 授業料免除の対象者

学部及び大学院学生（研究生、聴講生等として入学した者を除く。）のうち、次のいずれかに該当する者

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 授業料の各期の納期前 6 ヶ月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）に、学資負担者が死亡した者又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
- ③ 上記②に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者
- ④ 強い社会的要請又はその他の理由により、特段の配慮が必要であると学長が認める者

※ ただし、進級できなかった者又は修業年限を超えて在学している者（病気、留学など特別な事情があると認められる場合を除く）は、①～④のいずれかに該当しても免除の申請対象にはなりません。

(2) 授業料免除の申請

授業料免除の申請を希望する場合は、「令和5年度授業料免除等申請書」を記入し、提出書類（証明書等）を添付のうえ、申請受付窓口へ提出してください。

◆後期の申請について

前期に授業料免除を申請し、後期も継続して授業料の減免を希望する場合は、後期申請期間中に「授業料免除等に関するチェックリスト（後期分）」と必要な証明書等を添付のうえ、申請受付窓口へ提出してください。

後期分から申請する場合は、後期授業料免除申請期間中に「令和5年度授業料免除等申請書」を記入し、必要な証明書等を添付のうえ、申請受付窓口へ提出してください。

前期に授業料免除を申請した者で、後期申請を行わない場合は、「授業料免除等に関するチェックリスト（後期分）」の『後期申請を取り下げる』欄に☑を記入して、申請受付窓口へ提出してください。

なお、授業料免除の選考は、学期毎に行いますので、前期の選考結果がそのまま後期に適用されるとは限りません。また、選考結果が通知されるまで、授業料は納付しないでください。

9月に博士前期課程を修了し、10月に博士後期課程へ進学する予定の者で、進学後も引き続き授業料免除の申請を希望する場合は、学種が変更となるため、改めて「令和5年度授業料免除等申請書」を記入し、必要な証明書等を添付のうえ、申請受付窓口へ提出してください。

(3) 免除の額

授業料免除選考の結果、全額免除もしくは一部免除が許可された場合は、授業料の全額もしくは一部を免除します。

(4) 選考結果の通知

授業料免除の選考結果は、九工大メールアドレス宛にメールにて通知します。

なお、授業料免除選考の結果、不許可もしくは一部免除となった場合は、指定する期日に登録口座から引き落としを行います。(所定の期日までに授業料を納付しなければ除籍となりますので、十分注意してください。)

3. 申請書類の提出について

(1) 提出書類

①令和5年度授業料免除等申請書(3枚複写式)

※前期と後期の申請書は、本人控も含め3枚1セット(複写式)となります。

申請書は記入後、切り離さず本人控を含め3枚を提出してください。

※本人控は、受付後に受付番号を記入して本人へ返却します。

後期チェックリスト提出の際、前期の申請状況との変更確認に必要となりますので、紛失しないよう大切に保管してください。

②授業料免除等に関するチェックリスト

※前期に授業料免除申請した者は、後期の授業料免除申請を継続するか、取り下げるかにかかわらず、後期申請期間中に必ず「授業料免除等に関するチェックリスト(後期分)」を提出してください。

③所得(課税)証明書(原本)

授業料免除申請する場合、就学者を除く同居者、同一生計の家族全員分(無職、無収入の場合を含む)の所得(課税)証明書が必要です。

所得(課税)証明書は、全項目(所得金額、住民税所得割額の金額、扶養親族の人数)が記載されているものを提出してください。

※ 証明内容の一部が「***」と記載されている等、その内容が不明瞭な場合は、不備となり再提出が必要となります。

④アルバイト等収入状況申立書

⑤奨学金受給確認書(全員)／奨学金受給証明書(他大学から入学する大学院1年次のみ)

⑥兄弟姉妹等の在学状況及び授業料免除状況証明書

※家族に高校生以上の就学者がいる場合に提出

⑦その他チェックリストに基づく必要添付書類

(2) 提出場所

所属	提出先	連絡先	メールアドレス
工学部	学生係	093-884-3053	koh-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp
情報工学部	学生係	0948-29-7524	jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp
生命体工学研究科	学生・留学生係	093-695-6007	sei-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp

※ やむを得ない事情により、申請期間中に申請書類に添付する書類を揃えられない場合は、事前にその旨を申請受付窓口へ連絡し、指示を受けること。

提出期限を過ぎた後は、申請書類の受付は行いません。

(3) その他の注意事項

1. 提出書類に不備・不足がある場合は受理できませんので、余裕をもって提出してください。
2. 免除申請を行った者は、**選考結果が通知されるまでの間、申請した入学料及び授業料の納付が猶予されますので、選考結果が通知されるまで納付しないでください。**
3. 選考結果の通知後、提出書類に虚偽の申告があったと認められる場合は、決定を取消すことがあります。

(4) 個人情報の取扱いについて

入学料及び授業料に係る免除申請書及び提出書類により取得した情報は、各種選考のために利用するもので、その他の目的には利用しません。

4. 申請書類記入上の注意点

申請書類は、選考時の資料となるので、以下の注意事項を参照のうえ、申請時現在の状況を正確に記入してください。

「様式-①」令和5年度前期授業料等免除申請書

「申請区分」

該当する項目（入学料免除・入学料徴収猶予・授業料免除）に☑をしてください。

入学料免除を申請する者は、入学料徴収猶予も併せて申請してください。

授業料免除のみ申請する者は、授業料免除に☑をしてください。

「本人」、「保証人」欄

1. 保証人は、原則、入学時に大学へ提出した父母兄弟を選任してください。

ただし、事情によっては、これに代わる適当な方の選任を認めます。

2. 本人及び保証人がそれぞれ自署してください。同一人物による記入は書類不備とし、申請を認めません。

本人欄の「通学区分」及び「独立生計」においては、該当の有無に☑をしてください。

3. 学生番号について、大学院新生で学内進学の方は、旧学生番号欄に学部時の学生番号を記入してください。

「申請理由」欄

各種申請を希望するに至った家庭事情や、その他説明を要することについて、申請者（学生自身）の立場で記入してください。

時折、保証人等の立場から記入されたものが見受けられますが、その場合は書類不備となりますので、注意してください。

◎家庭状況調書

「給付型奨学金」欄給付型奨学金の「受給の有無」は、返還義務のない（日本学生支援機構給付型奨学金以外の）給付型奨学金を受給している場合は「□有」に☑をしてください。返還義務のある貸与型奨学金のみを受給している場合、又は、奨学金を全く受けていない場合は「□無」に☑をしてください。

※ 「有」の場合、受給状況を記載してください。

「本人・家族（就学者以外）・同居者」欄

1. 記入の有無は以下のとおりです。

○記入する	・就学者を除く、同居者全員 ・別居で同一生計（生計を一にする）の家族（単身赴任など）
×記入しない	・別居で別生計（独立して生計を営んでいる）の兄弟姉妹、祖父母など

2. 父母は、死亡・生別に関わらず、必ず記入してください。
3. 現在の職業は、主婦、家事手伝い、無職等であってもその旨記入し、空欄にしないでください。
4. 在職期間は、現在の職業に就いてからの年数（1年未満は月数：○ヶ月）を記入してください。
5. 給与収入及び給与外収入は、提出書類を基に大学で記入しますので記入不要です。

「本人以外の就学者」欄

1. 申請者本人を除く、小・中・高校・高専・大学（大学院を含む）・特別支援学校及び専修学校（高等課程・専門課程）に在学する兄弟姉妹を記入してください。
※ 専修学校一般課程及び各種学校・予備校・看護学院・職業訓練校・防衛大学校等に在学する方は、就学者には該当しませんので、これらの学校へ通っている兄弟姉妹については「本人・家族（就学者以外）・同居者」欄に記入してください。
2. 種別は、欄外の注意書きを参照して記入し、通学区分及び国公私立の別は、該当するものに☑をしてください。
3. 本人以外の就学者欄に記入した方のうち、国立学校に在学する方（申請者本人を除く高校生以上）は、昨年度の授業料免除の状況について該当するものに☑をしてください。
なお、昨年度の授業料免除の状況が「□無」以外の場合は、正規授業料の年額を記入してください。

◎収入状況調書

「収入状況」欄

- ※ 網掛け箇所は、大学記入欄ですので何も記入しないでください。
1. 「本人・家族（就学者以外）・同居者」欄に記入した全員の収入状況を記入してください。
 2. 給与収入は、令和4年1月～令和4年12月の税込の支払金額を記入（千円未満切り捨て）してください。※給与収入とは、次に掲げるものを指します。

- ◆ 俸給・給料・賃金・歳費
- ◆ 年金(障害年金、遺族年金、老齢年金、企業年金等)・恩給
- ◆ 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当・傷病手当・健康管理手当・失業給付・生活保護法による扶助料 等
- ※ 給与収入の区分に該当する項目がない場合は、()に項目を記入し、収入金額を記入してください。
- ※ 令和4年1月以降に就職・転職した場合は、勤務及び給与証明書により、年間収入予定金額を推算の上、記入してください。

3. 給与外収入は、給与収入以外の令和4年1月～令和4年12月の所得金額を記入してください。

※ 給与外収入とは、次に掲げるものを指します。

- ◆ 農業・商業・工業・林業・水産業・不動産業・運輸通信業・医療保険業等による所得
- ◆ その他の職業(保険の外交等)による所得
- ◆ その他の雑所得(利子・配当・家賃・地代・内職収入・親戚、知人からの援助収入等)
- ◆ 臨時所得(退職金・保険金・資産の譲渡による所得及び山林所得等)
臨時所得には、学資負担者の死亡等による「生命保険金」は含まない。
退職金・保険金・資産の譲渡による所得及び山林所得等の臨時所得は、入学料免除と授業料免除で計上する期間が異なります。
 - ・ 授業料免除を申請する場合は、当該授業料納期前6ヶ月以内における所得を計上します。
 - ・ 入学料免除・入学料徴収猶予を申請する場合は、入学前1年以内における所得を計上します。
 また、退職金・保険金・資産の譲渡による所得及び山林所得等の臨時所得は、必ず受取年月を記入してください。
- ◆ 養育費(未成熟子(経済的・社会的に自立していない子)が自立するまでに要する費用を、子供を養育しない他方の親が支払うもの)

給与外収入の区分に該当する項目がない場合は、()に項目を記入し、収入金額を記入してください。

確定申告(市県民税申告)をしている者は、申告書の収入金額から必要経費を差引いた所得金額を記入してください。確定申告をしていない者は、令和4年1月～令和4年12月の収入金額から必要経費を差引いた所得金額を記入してください。

4. 記入する金額は、千円未満を切り捨てて記入してください。
5. 給与収入及び給与外収入の合計を各人分、記入してください。

◎特別控除

1. 母子・父子世帯に該当する者は、死別・生別のどちらかを○で囲み、発生年月を記入してください。

2. 障がい者のいる世帯については、申請者本人との続柄を記入し、該当する区分を○で囲んでください。

なお、ここでいう「障がい者」とは、以下に該当する者を指します。

ア. 身体障害者福祉法第15号第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者

イ. 公害疾病の認定を受けた者で、かつ当該公害による身体上の障がいがある者

ウ. 原爆被爆者で、身体の機能に障がいがある者

エ. 心神喪失の状況にある者、もしくは精神薄弱と判定された者

オ. 常に就床を要し、複雑な介護を要する者

3. 長期療養者のいる世帯は、申請者本人との続柄を記入し、病名、療養期間を記入してください。

※療養期間6ヶ月以上のもののみ記入すること（見込み含む）

4. 申請基準日から6ヶ月以内（新入生は1年以内）に、火災、風水害、盗難等の被害を受け、支出が増大あるいは収入が減少して将来長期（2年以上）にわたり著しく困窮した状態におかれている世帯の場合は、被災年月と災害名及び被害額を記入してください。

5. 学資負担者が別居している世帯の場合は、別居期間及び別居先住所を記入してください。

**不足書類提出期限
4月7日（金）**

様式 J-1

学生番号

氏名

携帯番号

授業料免除不足書類連絡票（令和5年度前期）

提出期限までに準備できない書類がある場合は、該当する番号に○を付し、準備が間に合わない理由、提出予定日を記入の上、その他申請書類に、本連絡票を添付して学生係に提出してください。（必要に応じて、各自、(写)を保管しておいてください。）

【申請期限までに必ず提出する書類】

・授業料減免等に関するチェックリスト（令和5年度前期）

【期限までに準備できない書類】※太字の書類は大学所定の様式を使用してください。

1. **令和5年度〈前期〉（日本人用）授業料免除等申請書（様式①）**
2. 市区町村発行の令和4年度（令和3年分）所得（課税）証明書（所得の内訳金額、住民税所得割額の金額、扶養親族人数が記載されたもの） 父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・他
3. **アルバイト等収入状況申立書（様式④）**
4. アルバイト給与明細の写し・**アルバイト証明書（様式⑭）**
5. **奨学金受給確認書（様式⑤）**
6. 令和4年分給与所得の源泉徴収票の写し 父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・他
7. **勤務及び給与証明書（様式⑧）**
8. 令和4年分確定申告書の写し（第一表・第二表）
9. **退職及び退職金支給証明書（様式⑨）**
10. **退職金及び雇用保険に関する申立書（様式⑩）**
11. 雇用保険受給資格者証の写し
12. 令和4年分公的年金等の源泉徴収票・年金額改定通知書（最近のもの）の写し
13. **無職申立書（様式⑪）**
14. 児童手当支払通知書の写し・児童扶養手当証書の写し・特別児童扶養手当証書の写し
15. 臨時的所得に関する証明の写し（一時金・保険金・資産譲渡）
16. 生活保護決定（変更）通知（月毎の扶助金額が記載されているもの）の写し（R4年分すべて）
17. **養育費に関する申立書（様式⑫）**
18. 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等の写し
19. 医師の診断書（6ヶ月以上の療養期間である記載があること）
20. 傷病手当支給通知書の写し
21. **罹災証明書の写し・被災額及び損害保険金等により補てんされる金額を明らかにする証明書**
22. **被災証明書（様式⑬）**
23. 主たる家計支持者別居（単身赴任等）が確認できる辞令等や家賃光熱費等の領収書【写】
24. **兄弟姉妹等の在学状況及び授業料免除状況証明書（様式⑰）** 兄・姉・弟・妹
25. 扶養親族が別生計（別住所）であることの証明 兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・他
26. **生活方法申告書（様式⑬）**
27. その他（ ）

【準備が間に合わない理由】

提出予定日 **月** **日**

授業料免除等に関するチェックリスト（令和5年度前期）

提出日 年 月 日

学生番号 氏名 携帯番号 受付番号

【全員が提出するもの】

- ☐ 令和5年度前期授業料免除等申請書【様式①】
- ☐ 授業料免除等に関するチェックリスト（令和5年度前期）（本用紙【様式②】）
- ☐ 令和5年度授業料免除 確認票 ※学部生のみ
- ☐ 「所得（課税）証明書」（市区町村発行の原本でマイナンバー記載のないもの）

※

令和4年度（令和3年分）全項目証明（所得金額、住民税所得割額の金額、扶養親族の人数が記載されたもの）の原本が必要

※就学者を除く同一生計の家族、同居者全員分が必要（独立生計者は本人分も提出） 合計人数 人分

- ☐ アルバイト等収入状況申立書【様式④】
- ※アルバイト収入が103万円以上ある人は、収入金額のわかる書類（給与明細等）
- ☐ 奨学金受給確認書【様式⑤】
- ※他大学から入学の大学院1年生は「奨学金受給証明書【様式⑥】」

【該当者が提出するもの】（所得等に関する提出書類）

※基準日（令和5年4月1日）の状況を記入のうえ、「はい」と答えた方は、該当する箇所の必要書類を提出してください。

	区 分		回 答 ※○印で囲むこと	必要書類	発行先等
①	給与所得者 （会社員など がいる。	①-1 令和3年12月以前から現在まで勤務している人がある	はい ・ いいえ	・ 令和4年分源泉徴収票【写】	勤務先
		①-2 令和4年1月～令和5年4月1日に就職した（する）人がある	はい ・ いいえ	・ 令和4年分源泉徴収票【写】 ・ 勤務及び給与証明書	勤務先 様式⑧
②	令和4年1月以降退職した人がある。		はい ・ いいえ	・ 令和4年分源泉徴収票【写】 ・ 退職及び退職金支給証明書 ・ 雇用保険受給資格者票【写】 （失業保険受給者のみ）	前勤務先 様式⑨ 職業安定所
③	給与外所得者（自営業、農業者など）がいる。		はい ・ いいえ	・ 令和4年分確定申告書【写】 （第一表・第二表）	税務署
④	年金（老齢・厚生・遺族・障害・企業等）を受給している人がある。		はい ・ いいえ	・ 年金決定（改定）通知書【写】 ・ 令和4年分年金源泉徴収票【写】	日本年金機構等
⑤	15～59歳で無職の人がある。※就学者は除く		はい ・ いいえ	・ 無職申立書	様式⑩
⑥	児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当等を受給している人がある。		はい ・ いいえ	・ 児童手当支払通知書【写】 ・ 児童扶養手当証書【写】 ・ 特別児童扶養手当証書【写】	市区町村

⑦	下記期日以降、臨時的な所得(保険金・退職金・資産の譲渡等)があった人がある。 ・ 入学料免除申請者：令和４年４月以降 ・ 授業料免除申請者：令和４年１０月以降	はい・いいえ	・ 令和４年分確定申告書【写】(第一表・第二表) または令和４年分市(町)県民税申告書【写】(または金額のわかる書類)	税務署 発行元
⑧	生活保護受給世帯である。	はい・いいえ	・ 令和４年分保護(変更)決定通知書【写】	市区町村
⑨	生別した父母がいる世帯(母子父子家庭)である。	はい・いいえ	・ 養育費に関する申立書	様式⑪
⑩	障害者・要介護者・原爆被爆者のいる世帯である。	はい・いいえ	・ 障害者手帳【写】 ・ 介護保険被保険者証等【写】 ・ 被爆者健康管理手帳【写】	市区町村
⑪	６ヶ月以上にわたる療養中(見込み含む)で、今後も引き続き治療が必要な人がある世帯である。	はい・いいえ	・ 医師の診断書(６ヶ月以上の療養期間である記載があること)	医療機関
⑫	申請基準日から１年以内に自然災害による被害を受けた被災世帯である。 ※保険金や賠償等で補てんされた金額は控除対象になりません。	はい・いいえ	・ 罹災証明書【写】 (または被災証明書) ・ 被災金額証明書等【写】 ・ 保険金支払通知書等【写】	市区町村 様式⑫ 市区町村 保険会社
⑬	主たる家計支持者が別居している世帯である。 ※勤務先都合によるもののみ	はい・いいえ	・ 主たる家計支持者の別居(単身赴任等)が確認できる辞令等や家賃光熱費等の領収書【写】	
⑭	高校生以上の兄弟がいる。 ⑭-１ 就学者(高校生、大学生、専門学校生) ※人数 _____ 人 ※予備校、職業訓練校等は含まない。	はい・いいえ	・ 兄弟姉妹等の在学状況及び授業料免除状況証明書	様式⑦ (在学校)
	⑭-２ 就学者以外で別居、別生計 ※人数 _____ 人	はい・いいえ	・ 住民票など住所がわかるもの(運転免許証のｺｰﾀｰや公共料金の請求書のｺｰﾀｰ) ※余白に続柄・氏名を記入する	
⑮	同一生計家族の年間の収入合計金額が 100 万円を下回っている世帯である	はい・いいえ	・ 生活方法申告書	様式⑬
⑯	大学院生で、独立して生計を営んでいる。	はい・いいえ	・ 令和４年分源泉徴収票等 ・ 健康保険証【写】 ・ 世帯全員の住民票	勤務先 " 市区町村

提出日 令和5年 月 日

学生番号 氏名 携帯番号 受付番号

1	令和5年度後期授業料免除を申請しますか。	☐ はい→2へ
		☐ いいえ（後期申請を取り下げます）→質問は終わりです。 このまま提出してください。
2	令和5年度前期に申請をしましたか。	☐ はい→3へ
		☐ いいえ（新規申請をします）→A・C・Dへ
3	令和5年度前期の申請書記載内容に変更はありますか。（令和5年4月2日以降）	☐ はい（変更申請をします）→A・B・Dへ
		☐ いいえ（継続申請をします）→Aへ

◆提出書類◆

A【後期申請者全員が提出するもの】

☐授業料免除等に関するチェックリスト（後期分）（本用紙【様式③】）☐令和5年度授業料免除 確認票 ※学部生のみ☐「所得（課税）証明書」（市区町村発行の原本でマイナンバー記載のないもの）

※令和5年度（令和4年分）全項目証明（所得金額、住民税所得割額の金額、扶養親族の人数が記載されたもの）の原本が必要

※就学者を除く同一生計の家族、同居者全員分が必要（独立生計者は本人分も提出） 合計人数 人分

B【前期から変更があった人】

☐令和5年度後期授業料免除申請書【様式①】（受付時に窓口にて記載修正）☐各自の変更状況に応じた必要書類

	区 分	回 答 ※○印で囲むこと	必要書類	発行先等
①	給与所得者（会社員など）で、令和5年4月2日～令和5年10月1日に就職した（する）人	はい・いいえ	・令和4年分源泉徴収票【写】 ・勤務及び給与証明書	勤務先 様式⑧
②	令和5年4月2日以降退職した人がいる。	はい・いいえ	・令和5年分源泉徴収票【写】 ・退職及び退職金支給証明書 ・雇用保険受給資格者票【写】 （失業保険受給者のみ）	前勤務先 様式⑨ 職業安定所

C【後期から新規で申請する人】

☐令和5年度後期入学生・徴収猶予・授業料免除申請書【様式①】☐アルバイト等の収入状況調書【様式④】（学部一年生と三年生次編入生は不要）

※アルバイト収入が103万円以上ある人は、収入金額のわかる書類（給与明細等）

☐奨学金受給確認書【様式⑤】（学部一年生は不要。他大学から入学の大学院1年生は「奨学金受給証明書【様式⑥】」）☐各自の状況に応じた必要書類

	区 分		回 答 ※○印で囲むこと	必要書類	発行先等
①	給与所得者（会社員など）がいる。	①-1 令和３年１２月以前から現在まで勤務している人がいる	はい ・ いいえ	・ 令和４年分源泉徴収票【写】	勤務先
		①-2 令和４年１月～令和５年１０月１日に就職した(する)人	はい ・ いいえ	・ 令和４年分源泉徴収票【写】 ・ 勤務及び給与証明書	勤務先 様式⑧
②	給与外所得者（自営業、農業者）がいる		はい ・ いいえ	・ 令和４年分確定申告書（第一・二表）【写】 または 令和４年分市（町）県民税申告書【写】	税務署
③	令和４年１月以降退職した人がいる。		はい ・ いいえ	・ 令和４年分源泉徴収票【写】 ・ 退職及び退職金支給証明書 ・ 雇用保険受給資格者票【写】 （失業保険受給者のみ）	前勤務先 様式⑨ 職業安定所

D【該当者が提出するもの】

※基準日（令和5年10月1日）の状況で記入してください。

※後期新規申請者のうち、①～⑬で「はい」と答えの方は、該当する箇所の必要書類を提出してください。

※前期申請をした者のうち、令和5年4月2日以降で以下の項目に変更があれば「はい」と答え、該当する箇所の必要書類を提出してください。



	区 分	回 答 ※○印で囲むこと	必要書類	発行先等
①	年金（老齢・厚生・遺族・障害・企業等）を受給している人がいる。	はい・いいえ	・年金決定（改定）通知書【写】 ・令和4年分年金源泉徴収票【写】	日本年金機構等
②	15～59歳で無職の人（就学者は除く）がいる。	はい・いいえ	・無職申立書	様式⑩
③	児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当等を受給している人がいる。	はい・いいえ	・児童手当支払通知書【写】 ・児童扶養手当証書【写】 ・特別児童扶養手当証書【写】	市区町村
④	下記期日以降、臨時的な所得（保険金・退職金・資産の譲渡等）があった人がいる。 ・入学料免除申請者：令和4年10月以降 ・授業料免除申請者：令和5年4月以降	はい・いいえ	・令和4年分確定申告書（第一・二表）【写】または令和4年分市（町）県民税申告書【写】（または金額のわかる書類）	税務署
⑤	生活保護受給世帯である。	はい・いいえ	・令和4年分保護（変更）決定通知書【写】	市区町村
⑥	生別した父母がいる世帯（母子父子家庭）である。	はい・いいえ	・養育費に関する申立書	様式⑪
⑦	障害者・要介護者・原爆被爆者のいる世帯である。	はい・いいえ	・障害者手帳【写】 ・介護保険被保険者証等【写】 ・被爆者健康管理手帳【写】	市区町村
⑧	6ヶ月以上にわたる療養中（見込み含む）で、今後も引き続き治療が必要な人がいる世帯である。	はい・いいえ	・医師の診断書（6ヶ月以上の療養期間である記載があること）	医療機関
⑨	申請基準日から1年以内に自然災害による被害を受けた被災世帯である。 ※保険金や賠償等で補てんされた金額は控除対象になりません。	はい・いいえ	・罹災証明書【写】（または被災証明書） ・被災金額証明書等【写】 ・保険金支払通知書等【写】	市区町村 様式⑫ 市区町村 保険会社
⑩	主たる家計支持者が別居している世帯である。 ※勤務先都合によるもののみ	はい・いいえ	・主たる家計支持者の別居（単身赴任等）が確認できる辞令等や家賃光熱費等の領収書【写】	
⑪	高校生以上の兄弟がいる。	はい・いいえ	・兄弟姉妹等の在学状況及び授業料免除状況証明書	様式⑦ （在学校）
	⑪-1 就学者（高校生、大学生、専門学校生）※人数 人 ※予備校、職業訓練校等は含まない。 ⑪-2 就学者以外で別居、別生計 ※人数 人			
⑫	同一生計家族の年間の収入合計金額が100万円を下回っている世帯である。	はい・いいえ	・生活方法申告書	様式⑬
⑬	大学院生で、独立して生計を営んでいる。	はい・いいえ	・令和4年分源泉徴収票等 ・健康保険証【写】 ・世帯全員の住民票	勤務先 〃 市区町村

後期申請時には、継続して申請する場合と取り下げを行う場合のいずれについても、必ず「授業料免除等に関するチェックリスト（後期分）（本用紙【様式③】）」を提出してください。

※この様式は、新規申請者は全員提出、後期継続申請者は変更のある者のみ提出してください。

様式—④

アルバイト等収入状況申立書

記入日 年 月 日

学生番号

氏 名

授業料免除申請にあたり私のアルバイト等の収入状況は下記のとおりです。

記

1	申請基準日現在アルバイトをしている または、する予定である。 ※申請基準日 前期:4/1 後期:10/1	☐ はい→2へ	☐ いいえ→以上で質問は終わり
2	昨年一年間の総収入が 103 万円を超えた、または今年の収入が 103 万円を超える見込みである。	☐ はい→3へ	☐ いいえ→以上で質問は終わり

3. 収入状況について

(1) 昨年中(1月1日～12月31日)の状況

アルバイト先	内容	総受給額	支払いを受けた期間
			年 月 ～ 年 月
			年 月 ～ 年 月
			年 月 ～ 年 月

(2) 今年(1月1日～12月31日)の状況

アルバイト先	内容	総受給額	支払いを受けた期間
			年 月 ～ 年 月
			年 月 ～ 年 月
			年 月 ～ 年 月

※2. で、「はい」と回答した方は、アルバイト先の源泉徴収票または、給与明細の写しを添付してください。いずれも準備できない場合は、アルバイト先で「アルバイト証明書」に証明を受けてください。

奨 学 金 受 給 確 認 書

学生番号 _____

氏 名 _____

授業料免除申請にあたり

(□本人・□夫・□妻) 氏名 _____ の給付型の奨学金受給状況は

下記のとおりです。

記

昨年度(昨年4月～今年3月)の奨学金について

☐ 奨学金を受給していない☐ 次のとおり奨学金を受給していた

奨学金名称	受給期間	受給月額	受給総額
	年 月 ～ 年 月	円	円
	年 月 ～ 年 月	円	円
	年 月 ～ 年 月	円	円

合 計 _____ 円

※ 入学料相当額または授業料相当額の給付奨学金の受給が決まった場合、申請受理後であっても申請を取り消すことがあります。

※ 奨学金は給付型の奨学金のみ収入として算入します。
日本学生支援機構奨学金等 貸与型のものについては、申告不用です。

奨学金受給証明書(大学院1年次生用)

様式—⑥

奨学事務担当者 殿

卒業・修了年月 令和 年 月

学生番号 _____

氏 名 _____

※該当する項目に☑を付してください。

この度、九州工業大学に(☐入学料免除・☐入学料徴収猶予・☐授業料免除)の申請を行いますので下記事項について証明願います。

記

昨年度奨学金受給状況について

☐ 受給なし

☐ 受給していた(下記の欄にも記入願います)

給付型奨学金 [名称 : _____]

受給期間 : _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 月額 : _____ 円

上記のとおり証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学 校 名 _____

証明者の職名・氏名 _____ 印

※ 他大学から九州工業大学大学院に入学する学生のものです。

※ 本学学部生が進学するに当たり書類を提出する際には、奨学金受給確認書を使用してください。

＝この証明書は、高校生以上の就学者が対象です。＝

【貴学(校)在学者】(九州工業大学在学者の兄弟姉妹)

学生番号	学年	氏名
------	----	----

【九州工業大学在学者(授業料免除申請者)】

学生番号	氏名
------	----

・裏面の記入例をご参照ください。

兄弟姉妹等の就学状況及び授業料免除状況証明書

各学校等事務担当者 殿

九州工業大学

この度、本学に在学する学生に係る授業料免除の申請にあたり、貴学(校)に在学する学生(本学学生の兄弟姉妹等)の就学状況及び授業料免除状況の確認が必要なため、ご証明をお願いします(当該学生が新入生である場合は、4月1日以降に証明願います)。

*****以下は各学校の証明担当者様をご記載ください。*****

1. 令和5年度における就学状況(該当する□に「☑」を付してください。)

設置区分	☐ 国立	☐ 公立	☐ 私立
学校種別	☐ 大学・大学院・短大	☐ 専修学校(専門課程)	
	☐ 高等専門学校	☐ 専修学校(高等課程)	
	☐ 高等学校	☐ 専修学校(一般課程)	
	☐ 各種学校		
通学区分	☐ 自宅	☐ 自宅外	

2. 令和4年度における授業料免除状況(該当する□に「☑」を付してください。)

※貴学(校)の設置区分が「国立の場合で、貴学在学者(本学学生の兄弟姉妹等)が令和4年度も国立高等教育機関に就学される場合(大学院等への進学を含む)は、令和4年度の授業料免除状況について、証明願います。

区分	授業料免除の実施状況	免除額
前期	☐ 全額免除 ☐ 半額免除 ☐ 一部免除 ☐ 不許可 ☐ 申請無	円
後期	☐ 全額免除 ☐ 半額免除 ☐ 一部免除 ☐ 不許可 ☐ 申請無	円
	☐ 令和4年度入学のため、該当しません。	
授業料年額(免除前の年額)		円

上記のとおり相違ないことを証明します。

年 月 日

学 校 名 _____

証明者の職名・氏名 _____ (印)

(担当者職名および押印は、事務ご担当者様で構いません。)

(記入例)

【貴学(校)在学者】※本学在学者の兄弟姉妹等の方がご自身で記入してください。

学生番号 987654321	学年 3	氏名 九工大 福子
----------------	------	-----------

【九州工業大学在学者】

学 生 番 号 123456789	申請者氏名 九工大 太郎
----------------------	--------------

兄弟姉妹等の在学状況及び授業料免除状況証明書

各学校等事務担当者 殿

九州工業大学

この度、本学に在学する学生に係る授業料免除の申請にあたり、貴学(校)に在学する学生(本学学生の兄弟姉妹等)の就学状況及び授業料免除状況の確認が必要なため、ご証明をお願いします(当該学生が新入生である場合は、4月1日以降に証明願います)。

*****以下は各学校の証明担当者様のご記載ください。*****

1. 令和5年度における就学状況(該当する□に「☑」を付してください。)

設 置 区 分	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立
学 校 種 別	☒ 大学・大学院・短大 ☐ 専修学校(専門課程) ☐ 高等専門学校 ☐ 専修学校(高等課程) ☐ 高等学校 ☐ 専修学校(一般課程) ☐ 各種学校
通 学 区 分	☒ 自宅 ☐ 自宅外

2. 令和4年度における授業料免除状況(該当する□に「☑」を付してください。)

※貴学(校)の設置区分が「国立」の場合で、貴学在学者(本学学生の兄弟姉妹等)が令和4年度も国立高等教育機関に就学される場合(大学院等への進学を含む)は、令和4年度の授業料免除状況について、証明願います。

区分	授業料免除の実施状況	免除額
前期	☒ 全額免除 ☐ 半額免除 ☐ 一部免除 ☐ 不許可 ☐ 申請無	267,900 円
後期	☐ 全額免除 ☐ 半額免除 ☒ 一部免除 ☐ 不許可 ☐ 申請無	89,300 円
	☐ 令和4年度入学のため、該当しません。	
授業料年額(免除前の年額)		535,800 円

上記のとおり相違ないことを証明します。

2023 年 2 月 14 日

学 校 名 ●●●大学

証明者の職名・氏名 学生係長 戸畑 さくら (印)

(担当者職名および押印は、事務ご担当者様で構いません。)

勤務及び給与証明書

様式—⑧

九州工業大学長 殿

住 所

会社名

代表者

印

(申請者氏名) に係る勤務及び給与支給について、

下記のとおり証明します。

証明月日 年 月 日

記

採用(予定)年月日 年 月 日

給与支給(予定)額 円(月額)

給与の有無 { 有 : 給与支給(予定)額 円(年額)
無

年間給与・給与支給(予定)合計額 円

※ 金額は全て諸手当を含んだ金額とする。

※ 中途採用者の年間給与・給与支給(予定)合計額は、採用以降12か月間についての
支給予定額を含む額とする。

私の(続柄) (学生氏名) が、

九州工業大学に 入学金・授業料 免除を申請するために必要ですので、
上記について証明くださるようお願いいたします。

申請者住所

申請者氏名

退職及び退職金支給証明書

様式一⑨

九州工業大学長 殿

住 所

会社名

代表者

印

当社を退職した(申請者氏名) に係る退職及び退職金支給に
ついて、下記のとおり証明します。

証明月日 年 月 日

記

退 職 年 月 日 年 月 日

退 職 金 支 給 額 円

※ 金額は諸手当を含んだ金額とする。

退職金支給年月日 年 月 日

私の(続柄) (学生氏名) が、

九州工業大学に 入学科・授業料 免除を申請するために必要ですので、
上記について証明くださるようお願いいたします。

申請者住所

申請者氏名

※60歳以上は提出不要

無職申立書

様式一⑩

九州工業大学長 殿

学生番号 _____

学生氏名(自署) _____

申立者氏名(自署) _____

私は下記の理由により、現在無職であることを申し立てます。

理 由：

無職事由の発生年月日： 年 月 日

養育費に関する申立書

様式一⑪

九州工業大学長 殿

学生番号

学生氏名

申立者氏名(自署)

私は昨年中に総額 _____ 円 の養育費を受け取り、

今年1月以降月額 _____ 円 の養育費を受け取っていることを申し立てます。

様式—⑫

九州工業大学長 殿

(市区町村長等)

氏名

印

住所

電話

()

下記のとおり証明します。

記

被災者氏名		申請者との続柄	
被災日時	年	月	日 午前・午後 時 分頃
被災場所			
被災原因	地震・大雨・台風・豪雪・その他（ ）		
被災状況	全壊・半壊（大規模半壊）・半壊・一部損壊 全焼・半焼 床上浸水・床下浸水・流出 その他（ ）		

(市区町村長等)

殿

私の(続柄) (学生氏名) が、

九州工業大学に 入学料・授業料 免除を申請するために必要ですので、
上記について証明くださるようお願いいたします。

申請者住所

申請者氏名

生活万法申告書(申請前3ヶ月)

様式—⑬

科 目				月	月	月	
収 入 の 部	繰 越			1	円	円	
	給 与 収 入	世 帯 主 入	(給 料)	2			
			(賞与収入)	3			
			(自家営業)	4			
	給 与 外 収 入	家賃地代収入			5		
		資産売却収入			6		
		贈与による収入			7		
		回転資金の流用			8		
		同居人による収入			9		
		その他の収入			10		
借 金			11				
預貯金引出			12				
1～12合計			イ				
支 出 の 部	非 消 費 支 出	税金		13			
		預貯金		14			
		社会保障費		15			
		その他		16			
		13～16合計		ロ			
	食 費	主食・副食		17			
		嗜好品		18			
		外食		19			
		17～19合計		ハ			
	住 居 費	家賃地代		20			
		家具・設備修繕その他		21			
	水道光熱・通信費			22			
	被 服 費	衣類		23			
		身の廻り品		24			
	そ の 他	保 健 医 療	保健医療		25		
			理容衛生		26		
			交際費		27		
			交通・自動車関係費		28		
		教 育	教育		29		
			教養娯楽		30		
職業費			31				
その他			32				
20～32 計			ニ				
支出合計(ロ+ハ+ニ)			ホ				
翌月繰越(イ-ホ)							
特に説明を要することや特別な事情のある場合はこの欄に記入してください							

最近3ヶ月間の生活万法・収支を上記のとおり申告します。

年 月 日

家計支持者(自署)	申請者との続柄	申 請 者	学生番号
			所属 年
			氏名

アルバイト証明書

学生番号

氏名

この度、九州工業大学に授業料免除の申請を行いますので、下記事項について証明願います。

記

業 務 内 容	
雇 用 期 間	年 月から現在に至る
1ヶ月当たりの支払い金額	円(平均)

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

【証 明 者】

会社名等

氏名

印

退職金及び雇用保険に関する申立書

九州工業大学長殿

学 生 番 号 _____
学 生 氏 名 _____
申立者氏名 _____

私は 年 月 日付、会社名 _____ の退職に伴う給付
について、下記のとおり相違ないことを申し立てます。

記

1. 退職金の受給の有無

☐ 受給した ☐ 受給予定 ☐ 受給していない
受給(予定)日 年 月 日
受給総額(予定総額) 円

2. 雇用保険の受給の有無

☐ 受給している ☐ 受給予定
☐ 受給していた(終了) ☐ 受給していない

※ 受給している、又は受給予定に ☒ を記入した方のみ記入して下さい。

受給期間満了年月日 年 月 日
所定給付日数 日
基本手当日額 円
受給総額(予定総額) 円

3. その他の給付金

☐ 受給した ☐ 受給予定 ☐ 受給していない
給付金名称 []
受給総額(予定総額) 円

※ ① 該当する項目に ☒ を記入してください。

② 各項目において、受給した、受給している、又は受給予定に ☒ を記入した場合、
受給内容・金額がわかる書類の写しを添付してください。

令和 5 年度前期入学料・授業料免除 FAQ

Q1	提出期限までに準備できない書類がある。
A1	不足書類があっても、受付を行いますので「 授業料免除不足書類連絡票 」に 準備が間に合わない事情、提出予定日等を記入し 、提出期限までに「 授業料減免等に関するチェックリスト 」、その他の関係書類一式を提出してください。
Q2	令和 5 年度に大学院に進学する予定だが、大学院の学生番号がわからない。
A2	記入時点の学生番号 を「旧学生番号」欄に記入してください。
Q3	学年はどの時点を記入すればいいのか。
A3	令和 5 年度(令和 5 年4月現在)の学年 を記入してください。「本人以外の就学者」欄も同様です。
Q4	「収入状況調書」の書き方がわからない。
A4	・給与所得者 令和4年分の給与所得の源泉徴収票から「支払金額」を確認して記入してください。 ・年金受給者、自営業等の方で、記入方法が不明な場合は空欄で構いません。
Q5	受付番号がわからない。
A5	受付番号欄は空欄としてください。免除結果は九工大メールで通知しますので、 受付番号は交付しません。
Q6	一人暮らし(自宅外通学)だが、住民票はアパート等の住所に移していない。どの住所を記入すればよいか。
A6	現在居住している(予定を含む)、アパート等の住所を記載してください。 なお、アパート等を借りているが、コロナの関係で一時的に帰省している場合も同様です。
Q7	令和4年1月以降退職した人がいる。退職金は0円なので、様式9「退職及び退職金支給証明書」は不要か。
A7	申立書である様式15「退職金及び雇用保険に関する申立書」を提出してください。
Q8	兄弟姉妹が令和5年4月から就職するが、どこに記載すればよいか。
A8	(1)令和5年4月1日に実家に住んでいる場合 「本人・家族(就学者以外)同居者」欄に記載し、様式8「勤務及び給与証明書」を提出してください。 授業料免除は4月1日現在の状況(住んでいる場所)が基準となるので、4月中旬から別居する場合であっても、4月1日時点で実家に住んでいる場合は「様式8」の提出が必要です。 (2)令和5年4月1日以降：一人暮らしをする場合 新しい住所が確認できる書類(例：住民票、運転免許証、公共料金の領収書、アパートの契約書)のコピーを、後日、提出してください。 (3)研修があり配属先が決まらない、引っ越し先が決まらないため住民票を動かしていない場合 研修の事実が確認できる書類(研修先、研修実施場所等を指示された文書やメール文等)を提出してください。